

かみそ NOW

上祖師谷自治会総務部広報委員会 TEL/FAX 03-5315-3646

住んで楽しい、災害に強い、安心安全のまちをめざして、役立つ情報やできごと、お知らせなど、上祖師谷の「いま」をお伝えする地域のしんぶんです。

謹んで

新春のご挨拶を申し上げます

上祖師谷自治会会長 水野貞



年末から年始にかけ好天に恵まれ、地元氏神様への初詣客も例年にも増して多かった様でございます。穏やかにお過ごし頂けた事とご挨拶致します。

さて、上祖師谷自治会は今年も「音楽と花」と文学、そして笑顔あふれるまち」のスローガンのもと、今まで以上に元気に進めていきたいと考えております。

2020オリンピック・パラリンピックの開催も2年後に控え気運が高まりつつある昨今、当自治会では「おもてなしオリンピック」開催決定直後より開講した英会話講座も熱心に進められております。

防犯・防火防災・交通安全への啓蒙活動は云々でも無く、各部署を中心とした活動されております。福祉厚生部では特に独自の「元気はつらつ」を開催。また、自治会自体のイベントとして春と秋に祖師谷公園で開催する「さくらフェス」と「いこいのコンサート」、真夏の盛りには上祖師谷神明社境内で行う「夕涼み会」など、今年も目白押しを予定しているところであります。

2018年3月開講したウクレレ講座、上祖メンバーズ「Ukulele Love」は昨年も多くの場でお披露目(ライブ演奏)をしてまいりました。さらに今年は、皆様にウクレレを弾き唄う楽しさを実感して頂くよう、施設等に出向き奏法を指導、自治会活動での講師として活躍願おうかと準備を進めております。

このように上祖師谷自治会は常に会員皆様と共に歩んでいきたいと考え、思い、そして、誇れる上祖師谷ブランドを築きたいと願っています。

皆々様の健康、益々のご多幸をご祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

2018年、
原点から始めよう
上祖師谷

2018年1月1日午前0時、今年の年男が打つ大太鼓の音とともに初詣の列が動き出した。新しい年の始まりだ。さて、今年、上祖師谷にとってどんな年になるだろう。誰もが願うのは住んで楽しい、安心安全なまちではないか。そのためにはやっぱり地域のつながりや絆が原点だと思ふ。新しい年にあたり、住民は、そして自治会はどう行動すべきか皆んなで考えたい。皆んなの上祖師谷だから。

2018年1月1日午前0時、今年の年男が打つ大太鼓の音とともに初詣の列が動き出した。新しい年の始まりだ。さて、今年、上祖師谷にとってどんな年になるだろう。誰もが願うのは住んで楽しい、安心安全なまちではないか。そのためにはやっぱり地域のつながりや絆が原点だと思ふ。新しい年にあたり、住民は、そして自治会はどう行動すべきか皆んなで考えたい。皆んなの上祖師谷だから。



「2018年の活動と抱負」 自治会各部長から

小さい力でも防犯意識の増幅を 防犯部部長 吉岡誠市

防犯部は約20名で活動を行っています。上祖師谷地域は現在、危機を感じるような犯罪は起こっておりません。しかし、成城警察署管内では「振り込め詐欺、ひったくり、空き巣」等は多数発生しています。



活動内容はパトロール及び広報です。パトロールは町内を徒歩巡回します。広報では車による防犯の呼びかけ及び、神社等での各団体の催し物で「防犯チラシ」等の配布を行っています。防犯部の活動による直接的な防犯効果は期待できるものではないかもしれませんが、防犯活動を続けることにより、地域の皆さん自身の中に「防犯意識」がさらに増幅していただければと思います。

例年通りの活動を精一杯 交通部部長 沼宮内宏

春の交通安全運動が交通部の今年最初の活動になります。自治会有志の方々には消防小屋に詰めていただき、交通とまちの安全を見守ってまいります。



8月下旬にはお子さんたちにお待ちかねの「夏休み交通子供会」を行う予定です。ゲームコーナー、飲み物、ポップコーン、お土産等もあり、毎年大盛況のイベントです。

また、年2回春秋、駒大グラウンド前にて古布回収の交通安全整理を行い、秋の交通安全運動は、春と同様の活動を行います。10月の神明社例大祭では、成城警察署の方々と交通部全員でお神輿巡行の警備にあたり、お神輿がご宮に入るまで事故、怪我等起きぬように細心の注意で見守ります。そして11月のトライアングルフェスタの交通整理が年内最後の活動です。

元気いっぱい笑いから 福祉厚生部部長 高橋正実

福祉厚生部では、自治会のスローガン「住んで楽しい、災害に強い、安心安全のまち」の、「住んで楽しい」を主に担当「元気はつらつ」「日帰りバス旅行」「ゴミ0デー」の事業を実施しています。



今年の元気はつらつは、3月9日(金)に「駒沢大学落語くらぶ」で元気いっぱいの笑いから始まります。以降、健康講座、歴史講座、手工芸、歌声喫茶、ウクレレ教室、日本舞踊の発表会等、様々なテーマで毎月第2金曜日の午後開催。終了後には、講師の方や出演者、参加者を交えてのお茶会もあります。

ゴミ0デーは春と秋の年2回、日帰りバス旅行も年2回を予定し、春は社会科見学を含む観光を、秋は景勝地と食事を厳選した観光を計画しています。乞うご期待です。行事の具体的な内容や日程は、適宜、回覧板や自治会掲示板でお知らせいたします。多数のご参加をお待ちしております。

防災防火を考えて頂く一助に 防災防火部部長 荒井竹継

昨年に引き続き防災訓練への参加、防災の啓蒙活動、防火の広報活動等に力を入れたいと思います。



大規模訓練は「上祖師谷地区防災訓練」で、12月上旬に上祖師谷中学と芦花小・中学で毎年交互に開催されます。訓練時の部員の役割は避難場所の上祖師谷神明社に集まった地域の皆さんを、安全に次の訓練会場まで誘導すること。そして一部の訓練(D級ポンプ一斉放水)に参加したり、サポート(一般参加者のD級ポンプ操作補助、バケツリレー補助)を行います。

また、毎年烏山小と上祖師谷中での「避難所運営訓練」に運営スタッフとして多くの部員が参加しております。

啓蒙活動としては、上祖師谷神明社での各団体の催し物などの参加者に防災パンフレット等を配布しています。防火の広報活動としては毎年クリスマス後に2回、広報車で上祖師谷全域に防火の広報をしています。部員数は決して多くないですが活動を通して上祖師谷の皆さんが少しでも防災と防火を考えて頂くお手伝いが出来ればと思っております。

地域の情報を共有 総務部部長 吉岡秀雄

いわば自治会全体の潤滑油的な役割です。主には5月の総会の準備、運営、自治会内部の調整、広報紙等の制作・発行になります。特に広報紙「かみそNOW」では地域で開催されるイベントや催し物、ニュースを紹介。地域の皆さんと情報の共有を図っています。回覧板、掲示板でご案内しますのでご覧ください。

駒大硬式野球部 神明社参拝!



1月20日(土)、大倉孝一監督以下駒沢大硬式野球部全員が地元神明社に必勝祈願をした。昨シーズン大倉新監督を迎え見事東都大学一部リーグに一年で帰り咲いた。駒大野球部は神明社のすぐ下にグラウンドや合宿所が揃った例大祭や農業祭など地元行事にも積極的に参加。彼らのチカラは今や地域に無くてはならぬ存在だ。地域皆んなで応援したい。

大倉監督は今年のテーマに「選手一人一人のレベルをもう一段アップさせること」と話した。あえて優勝とは語らなかつたがその柔らかな笑顔に自信が見えた。

農業祭

神明社境内 11月26日(日)

地元を取れた野菜が安く買える... 農業祭はいつも人気だ。10時開始を前に野菜コーナーにはすでに行列が出来ている。地区社協や親水テラス音楽会実行委員会、駒大射撃部等の甘酒や焼き芋、焼き鳥、焼きそばの店も賑わいを添えている。至誠会第二病院看護専門学校の方による血圧測定や健康相談もいつもながら地元の高齢者にとってはありがたい。JA上祖師谷支部の主催だが地域をあげて盛り上がりを見せていた。最も上祖師谷らしいイベントかも知れない。

農業祭のもう一つの目玉は、伝統の餅つきだ。「かけ搗き唄」にのっつてもち米を捏ね、4人で搗く。以前は6人で搗いたこともあったそう。11時からの配布にそなえて、駒大野球部や地域の若者の会である東西会のメンバーが威勢の良い声で搗いている。こちらにも長い行列が待っていた。



農業体験

地域の親子が対象

「じゃがいもクラブ」「だいこんクラブ」が、種の植付けから収穫まで、年3〜4回土曜日にを行っています。【事前申込み制】世田谷区報でお知らせします。

でっかいよ！

だいこんクラブ収穫 11月25日(土)

9月に植えた大根が大きく育っている。20組70名ほどの参加者は期待でいっぱい。青少年地区委員内藤会長の挨拶の後、さつそく自分の植えた場所で収穫だ。恒例のコンテストでは大蔵大根、青首大根、それぞれの大きさをユニークな大根に賞状が渡された。収穫の後は青少年地区委員の皆さんが用意したけんちん汁をいただき解散。それぞれ2種類の大根と、貴重な体験をお土産に家路に。今夜はどんな大根のお料理が食卓をにぎわすだろう。



防災は一人一人の意識から

地区防災訓練

12月3日(日)

地区防災訓練が行われた。9時30分、上祖師谷神明社(訓練1)に集合。続いて蘆花恒春園(訓練2)へ。そして最終目的地である芦花小・中学(訓練3)へと会場を移しながらの訓練だった。

訓練1では、応急手当訓練を、訓練2では救出救助訓練を、訓練3では地震体験、合同消火訓練などが行われた。どの訓練も大変参考になった。とは言えまだまだ参加者は少ない。これからは自分や家族のためはもちろん、地域は地域で守る意識を大切に、多くの人の参加が望まれる。

今回は上智大学祖師谷交流会館の留学生とともに芦花中学の生徒20名もボランティアで自主参加。熱心に取り組んでいた。若い力の参加は頼もしい。また神明社だけの参加だったのが至誠会第二病院のDMAT(災害医療チーム)の参加も注目だ。今後のより密接な協力をお願いしたい。



元気に ぱる・おもちつき

上祖師谷ぱる児童館 1月21日(日)

青空の下、ぱる児童館工作室横では威勢の良い掛け声が聞こえている。恒例の、ぱる・おもちつきだ。千歳小や、塚戸小のおやじの会、PTAの皆さん、中高生ボランティアなど地域の人々が協力して開催される。開始の10時30分にはすでに親子の長い列が、搗き立てのお餅が食べられるとあって人気だ。当日券も早々に完売した。

ぱる児童館村山館長もおやじの会に混じって相手の手を務めていた。おだやかな新春の一日だ。



地域の安心・安全をあらためて誓った

宮澤さん一家追悼集会

12月16日(土)

あの忌まわしい事件から17年、宮澤さん一家への追悼集会が御遺族、警察関係者、地域住民が参加してJAホールで行われた。あれだけの遺留品を残しながら「何故まだ」という思いは強い。会場では宮澤さん一家のスライドが流された。あの日から時間は止まっていた。こんな事件は私たちがのまちに2度と起こしてはならない。2部の追悼演奏会では中川バンドや上祖メンバーの演奏が心に深く響いた。マスコミの関心も高くTV、新聞各社の取材も多くさつそく昼のニュースでも取り上げられていた。



吹奏楽セミナー 芦花高校 2月3日(土)

毎年、芦花高校に会場提供を協力いただき、木管、金管、打楽器などのプロ演奏家による演奏指導と地域交流を目的に開催。今回も芦花高校と千歳中学校の吹奏楽部をはじめ、地域の方含め約30名の参加があった。

講師5名による楽器別指導の2時間は、少人数で和やかな雰囲気。奏法や楽器のことに練習している曲のポイントなどに取り組み、いいヒントに出会った参加者のいい顔がとっても印象的だった。(主催：親水テラス音楽会実行委員会)



お知らせ

祖師谷公園「さくらフェス」

4月8日(日) 11時〜15時
フシントンからの里帰り桜が今年もお迎えします。音楽パフォーマンス、飲み物、食べ物、お楽しみに。

編集後記

希望と少しの不安が入り混じって2018年が明けた。今年も元気な地域のイベントや楽しい情報をお伝えしたいと思う。(oy)
寒波が強いとは言え、陽ざしには春の予感。開花は遅いんだらうなあと、満開のさくらがなお待ち遠しい。(w)

日帰りバス旅行

川場村温泉とリンゴ狩り 10月30日(月)

早朝までには台風も通過、集合時間には陽も差し。参加者の集まりも良く、定刻7時前に出発した。快調にバスは進み、高坂SA、赤城高原SAで休憩の後、最初の目的地、道の駅「田園プラザかわば」に到着。早速、新鮮な野菜や果物、特産品のソーセージ等を求め、お店に入った。大きな買い物袋を提げてバスに戻り、再び買い物に行く人も。続いては、武蔵野市の吉祥寺と同じ字の花寺「吉祥寺」の見学。鎌倉建長寺を本山とする由緒あるお寺で、真っ赤に色づいた紅葉や可愛らしいホトトギスの花など、景色や花を楽しんだ。

昼食は、川場村温泉の悠湯里庵(ゆとりあん)で、そば懐石。食後は温泉を楽しんだり、囲炉裏を囲んでコーヒーを味わうなどゆったりと過ごした。

午後は「リンゴ狩り」。リンゴ園に到着後すぐに試食。今が旬の「陽光」(ようこう)はジュシーで甘みも酸味もありとてもおいしかった。真っ赤に

色づいたリンゴが一本の木に何百個と実ったリンゴ畑では、色がきれいで大きくておいしそうなりんごを挽ぐことができた。

川場村は、雨が降ったり日が差したりと目まぐるしく変わる天気だったが、最後にはきれいな「虹」を見ることができた。

帰りのバスの中では恒例のビンゴゲームで盛り上がり、ほぼ予定通りに上祖師谷に到着。皆さん、たくさんのお土産を抱えて満足そうに帰られた。次回も楽しい旅行を計画します。ご期待ください。(福祉厚生部 高橋正実)

